

御成橋 おなりばし



この橋は初代は港橋といい、沼津地区で狩野川に架設された最初の橋。明治26年沼津市島郷に御用邸が建築されて以来、皇室の利用が多くなり、明治45年、鉄橋に架け替えられ「御成橋」と改めた。交通事情により、昭和12年、2代目鉄橋となる。戦前のカンチレバーアーチとして大スパン。沼津市のシンボル。

所在地 沼津市通横町～市場町
建設時期 昭和12年（1937年）
規模 延長130.34m（桁長2×21.55+2×29.95+27.00） 幅員15.6m

御成橋 おなりばし 一位置・場所一



御成橋 おなりばし

－諸元－

構造物名(名称)	御成橋	
よみがな	おなりばし	
文化財	***	
土木事務所	沼津	
路線・河川名	(一) 原木沼津線	
所在地	沼津市通横町～市場町	
建築年代(竣工)	昭和12年(1937年)	
利用状況	A(利用)	
旧構造名	湊橋	
旧よみがな	みなとばし	
構造物の種類	橋梁	
主材料	鉄骨	
構造および形式	タイドアーチ橋(側道橋:単純非合成H鋼桁橋)	
寸法 (規模)	延長	130.34m(桁長2×21.55+2×29.95+27.00)
	幅	15.6m
	高さ	***

－特徴・系譜－

竣工	昭和12年(1937年)	
設計者	***	
施工者	八幡製作所・(株)浅野造船所	
技術的特徴	鋼製カンチレバーアーチ	
延長・規模の特徴	戦前のカンチレバーアーチとして大スパン 中央支間72m	
系譜	地域	***
	故事来歴	***
	関係した著名人	八幡製鉄・浅野造船所
意匠的特徴	***	
改修状況	(1)高欄の一部が空爆により被災し、補修。 (2)平成7年度～9年度 床版補強。	
特記事項	空爆を受けているが骨格は無事であった	

－写真－



御成橋 おなりばし 一写真一

